



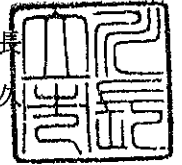
立総企第102号

平成19年 5月 1日

国土交通省道路局長

殿

立川市長
青木 久



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付け国道企第114号でご依頼いただいた件につきましては、下記のとおり回答いたします。

多摩地域の交流都市として、また、首都圏の業務核都市、東京圏の核都市としての立川市は、JR立川駅を中心に業務・商業機能の集積が進むとともに、国営昭和記念公園の来園などにより、周辺他都市からの交通量の大幅な流入があり、交通渋滞に対する緊急の対応策が求められております。

こうした課題に対応すべく、防災機能としての役割や周辺他都市との相互連絡を図る骨格道路を整備し、道路のネットワーク化を進める必要があります。そこで、東京都と28市町が共同で策定（平成18年4月）しました「多摩地域における都市計画道路の整備方針（第三次事業化計画）」の着実な整備、特に、本市における南北の骨格幹線道路となる立川都市計画道路3・1・34号中央南北線（JR青梅線から新奥多摩街道まで）の整備を含む中央自動車道への接続、及び立川都市計画道路3・3・30号立川東大和線の整備を早急に促進していただくよう要請いたします。

さらに、本市においては、都市機能の維持・増進、交通安全の確保、地域環境の保全を図るなど、安全安心で快適な道づくりを総合的に推進するため、市施行の道路整備事業に対する国庫補助対象の大幅な拡大と補助率の引き上げを要請いたします。

連絡先

立川市 総合政策部企画政策課主査（企画
政策担任）主任
担当 藤間

電話 042-523-2111 内線 252

fax 042-521-2653

mail kikakuseisaku@city.tachikawa.lg.jp